

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 10日

事業所名 タートル

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	廊下が広がっているので勉強スペースとしても活用し他児と距離をとり集中して取り組めるようにしている	その日の利用人数によって部屋の活動内容を決めスペースの有効利用ができるように努めている
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	職員配置、配置基準については、重要事項説明書に記載し、ご契約時にお伝えしております通り、法令に基づいた指定基準を遵守しております。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	スロープ・手すり等を設置しています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	目標設定と振り返りは日々行い、業務改善に繋げています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		今後も自己評価表をもとに改善していくこと、保護者の方に分かりやすく改善内容を伝えていきたい
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	第三者委員会の設置をしています。	今後も外部評価を含めより良い意見が頂けるように改善していきたい
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	半年に一回の研修を実施し、外部の研修へも参加しています。	コロナ禍で社外研修の機会が減ってはいったので、社外研修に積極的に参加していきたい
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題をもとに支援計画を作成しています。	定期的にあセスメントの更新を行うこと、保護者に対する説明を今後も行っていく
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	アセスメントツールを使用して、適応行動の状況を把握している	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	職員が交代で週の立案を行い意見交換をしながらその日の活動プログラムをきめている	職員会議等で新しい取り組みを話し合う機会を増やしていきたい

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	立案者が固定しないようにすることで、様々な活動プログラムになるよう工夫しています。	職員会議等で新しい取り組みを話し合う機会を増やしていきたい
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	個別活動での支援目標の作成はもちろん、地域に移行していく中で集団活動での目標を設定し支援計画を作成しています	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	朝礼時に打ち合わせ、役割分担の確認をしている。	天候、利用状況によって支援内容が変更となる場合にも対応できるようにしていく
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	送迎時の申し送り等の報告をし、その日の振り返りを行っている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	実績記録をとることの徹底、日々ミーティングの実施をしている。	実績記録は全職員、必ず目を通すよう心掛ける
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	定期的にモニタリングの実施、見直しをし、判断している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		
	関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	支援学校とは連絡会やFAX等で情報共有ができています
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%		
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	100%	申し送り書、電話での聞き取り等で情報提供し、相互理解に努めている	
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	100%	申し送り書の作成や電話での情報共有を行っています	
25		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	発達支援センターで年に数回ではあるが研修を受けています	
26		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
他機関や保護者との連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%		今の所、参加する機会がなく、今後は機会を見つけ参加したいです
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	100%	送迎時や連絡帳などでその日の様子を伝え、今後の課題について話す機会を設けている。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	0%	100%	事業所での取り組み方や成功例を伝え、ご家庭での支援の参考となるよう努めています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	契約時に説明させて頂いています	不明な点があれば再度、説明を行っていきます
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0%	100%	定期的に懇談を行い、それに加え適宜相談に応じている。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	懇談時に父母会について話す機会を設けている	保護者の意見を伺い必要に応じて開催していきたい
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	相談窓口を設けています	今後も保護者、子どもからの相談に迅速かつ適切に対応できるようにしていきたい
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	行事予定、活動内容等は随時、書面で保護者の方にお伝えしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		保護者の意見を伺い必要に応じて開催していきたい
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	他国籍の方には連絡帳やお便りをルビ表示や平仮名で対応している	児童との意思疎通は今後も様々な方法で行っていききたい
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%		今後、検討していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	個人情報の提供に係る同意書を作成し保護者同意の上情報の取り扱いを行っている	他機関との連携、情報共有時には必ず保護者の同意を得ることを今後も注意していく
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	職員に対しての訓練強化を実施していく	非常時の職員の役割を確認し迅速に行動できるよう訓練を行う

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%	虐待防止研修の資料を基に社内研修の実施を行っている	マニュアルの策定、周知、研修へ参加している。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	懇談や送迎時に身体拘束について話し合う機会を増やしていく	懇談時に説明はさせて頂いていますが児童発達支援計画書にも今後記載していきたい
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%		現在食物アレルギーのある子どもの利用はないが、保護者を通して医師の指示書に基づく対応をしています
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	虐待防止研修の資料を基に社内研修の実施を行っている	虐待防止委員会を設置したことにより職員の認識を深めることができた
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	17%	83%		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。